



コーちゃん・オーちゃんの 「見つけた！豊岡元気人」



若者に自由な発想で描かせた外壁(寿町)



外国人、高校生、小学生...いろいろな人が森田さんのもとに集まる



「若者の成長を見ていると、ほのほのとしていて楽しい」と活動の魅力を語る森田さん

若者よ、夢追い人たれ!!
人材育成でまちづくり
大好きな豊岡の発展を願い、子育て支援や若者が活躍できる環境づくりに情熱を傾ける女性を紹介します。

森田充代さん(小田井)

森田充代さんが代表を務めるバナラシティが、平成23年度に「子ども若者育成・子育て支援功労者」として内閣府特命担当大臣表彰(内閣府主催)を受賞しました。長年取り組んでいる子どもたちの居場所づくりや異世代・多世代の交流の場の提供が評価されました。

豊岡への深い愛着と

若者への期待

森田さんは「豊岡をより良いまちにするには、若者が力を発揮し、まちづくりをしないとイケない。若者には国際感覚が必要。子どものころから、英会話教育と子育て支援を組み合わせ、豊岡にいながらでも、国際感覚の豊かな若者を育成できるようにしたい」と熱く語ります。

人材育成に力を入れるようになったきっかけは、平成6年の「但馬理想の都の祭典」と翌年の「阪神・淡路大震災」。「但馬理想の都の祭典」では、設立された委員会の女性委員は森田さんただ一人。「なぜ、女性が一人なのか。もっと女性も活躍できるはず」と考えました。

また「阪神・淡路大震災」では、当時、大学生で神戸にいた息子とその仲間(豊岡にいた若者)を集めて、協力隊を結成。被災地でがれきの処理や花壇作りに取り組みました。そして、災害対応が一段落するころ、「若者は力を持って余しているが、発揮する場がない」ことに気付きました。

そこで、豊岡にいても彼ら

が自分の力を発揮できる場を作りたいと思い、20歳前後の若者を集め、グループ「じゃんけん」を設立しました。これが、後に森田さんの夢が形となるバナラシティに発展していきます。

甘えられておいしい場所

バナラシティ

国道426号を寿ロータリーから東に進むと、間もなく左手に不思議な建物が見えてきます。壁に、クジラや人魚などが描かれた夢のような世界。この建物が、森田さんの活動拠点です。

ここでは、若者が能力を発揮し、社会で活躍することを支援しています。彼らに居場所(活動する場所)を開放すると、彼らは自主的に、パソコン

教室や絵画教室、手作りアクセサリーの販売などを行いました。また、森田さん自身も高校講師だった経験を生かし、古典講座を開催しています。さらに、子育て広場「TREE」はうす(大開通り)では、子育て世代の居場所作りに取り組みなど、多世代が自然に交流できる活動を進めています。

森田さんは「多世代が学べて、遊べて、集える場所!それがバナラシティ」と楽しそうに話します。

若者が夢を持ち、夢に向かって

努力する心を育みたい

森田さんは「先人が素晴らしい豊岡を残してくれたことに感謝したい。そのお礼に、私は豊岡を楽しくてにぎわいのあるまちとして次の世代に託したい」と夢を語ります。

また、「若者には夢を持って、夢追い人になってほしい。夢は必ずかなう。そのためには、いろいろな人と出会い、体験し、感性を磨いてほしい」と優しい眼差しで話します。

森田さんは、今日も夢に向かって、歴史(古典)教育や人材育成の講演会などで、県内各地を飛び回っています。

広報マンがやってきた!

幼稚園編

28

最終回

近畿大学豊岡短期 大学附属幼稚園

(豊岡)

〈園児95人〉



近畿大学豊岡短期大学附属幼稚園は、園舎を囲むように桜の木が植えてあり、この時期花が咲き、新入生を歓迎します。

4月12日、今日から園での生活が始まりましたので、5クラスある教室の様子をのぞいてみました。

園での生活が始まるね

花・鳥組(3歳児)の園児たちは、初めての登園で少し緊張気味。お姉ちゃん、お兄ちゃんとお手をつないで教室へ向かいます。



教室に入ると、制服から体操着に着替えます。一人できさるかな!?

海・山組(4歳児)では、新しい園児が紹介されています。

新しい仲間が増えてうれしそう。

また、毎週木曜日には、隣の近畿大学豊岡短期大学から大学生のお兄さん、お姉さんが、



園児との交流を目的に来園します。1年間交流するお兄さん、お姉さんも自己紹介。

空組(5歳児)では、クレヨンを使って、自分の似顔絵入りの当番表を作りま

す。自分の顔を見ながら、みんな上手に描いていました。



元気いっぱい遊ぼう

園庭では、先生と一緒にかけっこをしたり、「先生、見てー」と言いながら鉄棒で前回りをしたり、元気い



っぱい遊び、園舎内では大学生のお兄さん、お姉さんに絵本を讀んでもらい、早速交流を深めています。



みんなで食べると

おいしいね

この日から給食も始まりました。みんなでお机を並べて給食の準備をします。食べ始めると、「先生、おいしいー」、「先生、大好きー」などの感想を言い合い、とてもにぎやか。みんなで食べる給食は楽しいね。



笑顔の輪

歌うって本当に楽しい!

新田うたごえ同好会(豊岡)

新田地区公民館の2階から、ピアノの音色とともに、女性2部合唱の心地よい歌声が聞こえてきます。

新田うたごえ同好会は、昭和52年、新田小学校のPTA総会後のアトラクションとして、合唱を披露したことから誕生しました。現在は、会員11人が、毎月第1・3木曜日に練習し、市民音楽祭などで歌声を披露しています。



▲思いっきり歌ってストレス解消!

「歌を楽しみたい」という同好会。レパートリーは100曲以上あるといい、童謡やオペラ、クラシックなど幅広いジャンルに参加してもらい、みんなで歌を楽しみたいと、会場の飾り付けを相談したり、当日披露する「真つ赤な太陽」の練習を繰り返しました。

この日は、5月26日(土)午後7時から新田地区公民館で開催する「うたごえ喫茶」の準備で大忙し。一人でも多くの方に参加してもらい、みんなで歌を楽しみたいと、会場の飾り付けを相談したり、当日披露する「真つ赤な太陽」の練習を繰り返しました。会長の岡本町子さん(今森)は「楽譜を読むこともできませんでしたが、歌い方を教えてもらえるし、仲間との会話や歌うことが楽しくて続いています」と笑顔で話します。入会希望・出演の依頼は岡本さんまで。☎23-4017